

## 県の事務事業に伴う温室効果ガス排出状況（2021(令和3)年度）

（単位：t-CO<sub>2</sub>）

機 関 等 名	2013 (平成25) 年度 総排出量 (基準年)	2021(令和3)年度						増減率	
		総排出量	内 訳				基準年比	前年比	
			CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub> (メタン)	N <sub>2</sub> O (亜酸化窒素)	HFC (フロン)			
知事部局	13,065	14,045 (13,072)*	13,209	560	268	9	107.5% (100.1%)*	98.8% (98.7%)*	
公営企業管理局	18,854	18,411	18,381	19	10	0	97.6%	101.1%	
教育委員会	9,579	8,977 (9,951)*	8,751	141	84	1	93.7% (103.9%)*	102.8% (102.6%)*	
警察本部	7,479	6,922	6,813	13	83	13	92.5%	97.8%	
指定管理施設	9,978	8,139	8,119	11	8	1	81.6%	107.5%	
合 計	58,955	56,494	55,274	744	452	24	95.8% ▲4.2%	101.2% 1.2%	

\*：( )内は2018(H30)年度から教育委員会の5施設が知事部局へ移管されたため、2013(H25)年度と同条件で比較した場合の数値  
※端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある

〔愛媛県地球温暖化対策実行計画に定める、県自らの事務事業に伴う温室効果ガスの削減目標〕  
2030(令和12)年度までに、基準年(2013(平成25)年度)の排出量と比べ 17%以上削減(1年ごとに1%の削減)

### 《参考》 県の事務事業に伴う温室効果ガスの主な発生要因

温室効果ガス種別	主 な 発 生 要 因
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	電気・燃料の使用
メタン(CH <sub>4</sub> ) 一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	燃料の使用、浄化槽・家畜(消化管内発酵等)・水田からの発生 病院での麻酔ガス使用
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	公用車のカーエアコンの使用
パーフルオロカーボン(PFC)	(県の事務事業では該当なし[発生要因:半導体の製造])
六ふっ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	(排出量が極めて微量と見込まれるため算定しない)